

平成24年(行ウ)第369号 法人文書不開示処分取消請求事件

原 告 レペタ・ローレンス

被 告 独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構

証拠説明書(3)

2012年11月7日

東京地方裁判所民事第2部A係 御中

原告訴訟代理人 弁護士 古本晴英

(甲11~16)



甲号 証	標 目 (原本・写の別)	作 成 年月日	作成者	立 証 趣 旨	備考
11	補充理由説明書	写 2009.3.23	被告	被告が、全部不開示とした法人文書目録(2)の文書について、矢頭治氏及び平八重一之氏が作成、保有する「実験ノート」は物理的に存在するが法人文書には該当しない、川田元滋氏及び大島正弘氏は「実験ノート」を作成、保有していないと主張したこと(1~2頁)	
12 ~2	論文「北陸地域での水稻の自然交雑の要因として水稻品種の開花時期と風向・風速」	写 2004.11.3	矢頭治ほか	共同研究である本研究プロジェクトの役割分担として、矢頭治氏が交雑の調査など作物の栽培を担当していること。	
13	【プレスリリース】我が国独自の技術で安心な組換えイネを開発－大規模な減農薬栽培を実現する成果	写 2003.12.22	被告	本研究プロジェクトとしてスタートした屋内栽培実験において、大島正弘氏が、研究チーム長の川田元滋氏に続いて、本研究プロジェクトの研究担当者として名を連ねていること。	
14	再公表特許(特願2003-577613)	写 2003.10.2	特許庁	本研究プロジェクトの研究成果として、2002年3月22日に国際特許出願された際、大島正弘氏が発明者として名を連ねていること。 上記出願書類に、発明者である大島正弘氏らの実験データが使われていること。	
15	書籍「アット・ザ・ベン	写 2006.10.1	キャシー・	実験ノートの本質、その利	

の 1 ～ 2	チーバイオ研究完全指南 アップデート版」（抜 粋）		バーカー	用・管理の仕方について	
1 6	意見書	写	2008.9.18	原告	本件実験ノートが不開示事由 に該当しない理由について (6～12頁)

以 上